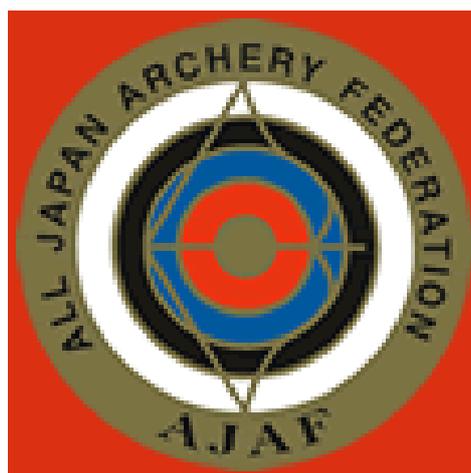


令和2年度JOCジュニアオリンピックカップ 第39回全国高等学校アーチェリー選抜大会

競技上の注意



- 会 場 つま恋リゾート 彩の郷 第一多目的広場特設会場
- 日 時 令和3年3月26日（金）～3月28日（日）
- 主 催 （公社）全日本アーチェリー連盟
（公財）全国高等学校体育連盟
- 主 管 （公財）全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部
静岡県アーチェリー協会
静岡県高等学校体育連盟アーチェリー専門部

< 大会日程 >

日 程	実 施 内 容	時 間	適 要
	3月25日(木)	13:00 ~ 17:00	受付開設(場所 カンファランスセンター)
1日目	3月26日(金) 受付 監督会議 男子 公式練習 用具・服装検査 女子 公式練習 用具・服装検査	12:30 ~ 13:00 13:30 ~ 14:00 14:45 ~ 15:45 16:00 ~ 17:00	受付(場所 カンファランスセンター) 競技補助者役員(中ブロック)打合せ (場所 カンファランスセンター) 監督会議(場所 カンファランスセンター) 公式練習(第一多目的広場特設会場) 用具・服装検査(競技本部テント後方)
2日目	3月27日(土) <午前> 男子 予選ラウンド <午後> 女子 予選ラウンド	9:30 ~ 9:40 ~12:00 (12:00 ~ 13:00) 13:00 ~ 13:10 ~ 15:30	男子 開始式 男子 予選ラウンド(70m36射×2) 休憩 女子 開始式 女子 予選ラウンド(70m36射×2)
3日目	3月28日(日) 男女個人戦 決勝ラウンド	8:30 ~ 9:15 9:25 ~ 10:10 10:15 ~ 10:45 10:50 ~ 11:20 11:50 ~ 12:20 12:25 ~ 12:55 13:00 ~ 13:30 13:35 ~ 14:05 14:10 ~ 14:40 15:00 ~ 15:20	男女個人戦 1/24リミネーションラウンド ^o 女子 " 1/24リミネーションラウンド ^o 男子 " 1/16リミネーションラウンド ^o " 1/8リミネーションラウンド ^o (射場レイアウト変更:敗退者が対応) " 1/4ファイナル " セミファイナル " ブronzeメダルマッチ " ゴールドメダルマッチ 女子 " ゴールドメダルマッチ 男子 " 表彰式・閉会式

タイムテーブルは予定時間のため、進行状況、天候などにより変更することがあります。

< 競技規則 >

(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則2020～2021年、および、(公財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が定める大会運営規定により実施する。

< 大会運営規定 >

1 用具服装検査について(26日(金) 男子:14:45～15:45 女子:16:00～17:00)

場所:競技本部テント後方

(1) 検査順 ①九州 ②中国・四国 ③近畿 ④北信越・東海 ⑤関東 ⑥北海道・東北 ⑦再検査

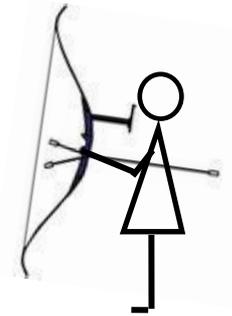
(2) 用具服装検査方法

ア 選手、監督とも検査を受ける。

イ 弓は審判員にフェイス面を向けて持ち上げ、検査を受ける。(右図参)

ウ 以下の項目について検査を行う。

- a 規定に適合したユニフォームとその着用状態(複数ある場合は全て)
- b 競技者番号(以下、ゼッケン)の照合と装着位置(背面・常に視認できるか)
- c 防水衣、防寒衣(正式なユニフォームの上に着用しているか)
- d 弓、タブ(競技に適した安全なものか)
- e 矢(ノック、フェザー、ネーム等が統一されているか)
- f ターゲットバッジ



弓はフェイス面を審判に向けて持ち上げる

(3) 競技中も、用具および服装は検査継続の対象とする。

(4) 用具の交換や修理に際しては、その都度審判員の検査を受けること。

(5) 予備弓具、スコープの検査は行わない。

(6) 再検査 検査不合格の選手は以下の時間で再検査を行う。必ず監督が同伴すること。

① 26日(金)男女別用具服装検査時間内

(男子:男子選手の検査終了～15:45 女子:女子選手の検査終了～17:00)

② 27日(土)男子:9:10～9:20 競技本部テント後方

女子:12:40～12:50 競技本部テント後方

2 公式練習について(26日(金) 男子:14:45～15:45 女子:16:00～17:00)

※出場登録された選手のみ

(1) 標的は距離70m、122cm的を使用し、各選手が予選時に使用する標的で行う。

(2) ABC矢取りの1立(4分)で実施する。(矢取りを含め男子15:45 女子17:00を越えないものとする)

(3) 監督はWWLまで立ち入ることができる。

(4) 競技場内では、監督・選手はユニフォームを着用し、選手は支給された予選用ゼッケンを背面に装着すること。

3 競技・行射方法について

(1) 標的・ゼッケンについて

ア 予選ラウンドでは、各選手はプログラムに記載された標的と支給された予選用ゼッケンを背面に装着する。

(2) 予選ラウンド(27日(土) 男子9:40～12:00 女子13:10～15:30)

ア 70m72射(36射×2回)で実施する。122cm標的面を使用する。

イ 行射は1標的3名の1立ち(ABC)で行い、4分6射ごとに採点および矢取りを行う。なお、選手の行射については、指定された行射位置とする。

- ウ 競技開始前に練習を設ける。
 - a 20分以内（1回4分、2回以内とする）
 - b 練習時間内の本数制限は設けませんが、時間外発射を行わないこと。
- エ 矢取りは当該出場選手が行うものとするが、事情により矢取り代行を配置する場合は監督会議前までに届け出るものとする。

（競技中に発生した不慮の事故による場合は審判員に届け出ること。）
- オ 用具破損等で審判へコールするときは、シューティングライン上より一歩後退し挙手して審判員に知らせ、審判員の判断を仰ぐ。
- カ 補充矢を行射する時間は最大15分で行う。

(3) 決勝ラウンド、次ステージへの進出、シュートオフについて

- ア 個人戦は予選ラウンド上位56名がイリミネーションラウンドに進出するものとする。
- イ イリミネーションラウンドへの進出、イリミネーションラウンド・ファイナルラウンドでの同点は10点数、X数を考慮せず、すべてシュートオフで勝敗を決する。
- ウ 個人戦のイリミネーションラウンド(1位～8位・56位)で同点が生じた場合、中立の標的を使用し、1競技者1標的で1射(40秒)のシュートオフを行う。1射目の矢が両競技者とも10点の場合、タイとみなし、マッチを決着するために2射目のシュートオフを行う。同点の場合は、的的中心に近い矢により決定する。それでも順位が決まらない場合、中心に最も近い矢による1射のシュートオフを順位が決定するまで続ける。

(4) 個人戦の予選ラウンドで得点が同点だった場合は次のように順位を決定する。

- ア 10点の数の最も多いもの。
- イ X(インナー10)数の最も多いもの。
- ウ これがまだ同数の場合、同順位とする。
- エ 決勝ラウンドの1回戦における対戦表の位置を決めるとき、上記ア、イによっても順位が決まらない場合は、ディスクトスによって順位を決定する。
- オ ディスクトスは、競技本部において競技委員長立会いの下で実施する。

(5) 個人戦決勝ラウンド（28日（日） 8:30～14:40）

- ア 距離は70m、122cm標的面を使用して行う。
- イ ゼッケンは予選用とともに決勝ラウンド用を装着する。（装着例参照）
- ウ 1/24イリミネーション競技開始前に練習を設ける。
 - a 15分以内（2分を2回行う）
 - b 練習時間内の本数制限は設けませんが、時間外発射を行わないこと。
- エ 対戦がない（bye）選手は、1/24イリミネーションの競技中、指定された標的（トーナメント表参照）で練習することができる。（対戦相手が棄権した場合を含む。）
 - a 練習は第3セットまでとする。
 - b 1セット内の行射は3本までとする。4本以上行射した選手は、その後の練習を行うことはできないが、次のマッチの制裁の対象とはならない。
- オ 対戦する2名は、1/16イリミネーションまで同じ標的を使用し、1/8イリミネーションからは1標的1名で行う。
- カ 各対戦の立ち位置はトーナメント表どおりとする。（巻末トーナメント表参照）
- キ 対戦はセットシステム(1セット：2分3射×5セットマッチ)で実施し、各セットの勝者は2ポイント、同点の場合は両選手に1ポイント、シュートオフの勝者は1ポイントを獲得する。各対戦で6ポイント以上に達した選手は勝者となり次のラウンドに進む。



ク ブロンズメダルマッチまでの行射について

- a 2名同時行射とし、採点、得点記録、ポイント表示は当該選手が行う。
- b ブザー2声でS Lに入り、ブザー1声で行射を開始する。
- c 勝敗が決したら、選手サイン後に後方の審判員から確認を受け、3 mライン付近で勝者コールを受ける。

※審判員確認時点で計算ミス等が発覚し、勝敗が違っていても、選手サインが終わっていた場合はスコアカードの記載内容が優先される。

- d 5セット終了時で同点の場合は、両者同時行射で1射（制限時間40秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。1射目の矢が両競技者とも10点の場合、タイとみなし、マッチを決着するために2射目のシュートオフを行う。同点の場合は、的の中心に近い矢により決定する。これでも順位が決まらない場合、中心に最も近い矢による1射のシュートオフを順位が決定するまで続ける。

ケ ゴールドメダルマッチ(決勝)の行射について

- a 交互行射とし、1射（20秒）ごとに行射を交代する。
- b 行射の順番は、予選ラウンドの上位者が選択する。
- c 先攻の選手は、行射開始の合図（ブザー）で行射を開始する。
- d 第2セット以降は、合計ポイントの低い選手が先攻となる。
- e 各セット終了時に両者のポイントが同点の場合、第1セット先攻の選手が先に行射する。
- f 後攻の選手は先攻の選手が射ち終え、自分の時計の減算が始まったら行射を開始する。
- g 両者がそれぞれ3射を射ち終えるか、制限時間が終了した時点でブザーが3声鳴り、採点、矢取りを行う。
- h 第5セット終了時で同点の場合は、交互射ち各1射（20秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。第1セット先攻の選手が先に行射する。1射目の矢が両競技者とも10点の場合、タイとみなし、マッチを決着するために2射目のシュートオフを行う。同点の場合は、的の中心に近い矢により決定する。これでも順位が決まらない場合、中心に最も近い矢による1射のシュートオフを順位が決定するまで続ける。

コ 用具破損等によるロスタイムは認めない。

サ 決勝ラウンドの敗者の順位決定方法は以下のとおりとする。

- a 1/2 4イリミネーションラウンドの敗者は33位
- b 1/16イリミネーションラウンドの敗者は17位
- c 1/8イリミネーションラウンドの敗者は9位
- d 1/4ファイナルラウンドの敗者は5位

4 得点記録について

(1) 得点記録は別紙のスコアカード(予選用・決勝用)を使用し、同一標的を使用する全選手で得点記録の業務分担を行う。また、予選の得点は携帯端末を使用し記録の入力・送信をする。

(2) 予選ラウンドの得点記録は、次の通り各々が分担して行う。

ア 矢を所有する選手の指差し呼称にしたがい、スコアラーは高い得点順にスコアカードに記入する。その標的の他の選手は、呼称確認・端末入力を行う。

(インナー10はアルファベットの「X」を、0点はアルファベットの「M」を記入・入力する。)

イ 矢の所有者および同一標的を使用する他の選手が、それぞれを分担して得点確認を行い、確実に実施するものとする。

ウ 各選手はスコアカードと携帯端末の得点が合っていることを確認後、携帯端末から送信する。

エ 選手自身が関与する得点記録業務の内容は、他の選手の得点記録や順位に関する権利にも影響を及ぼす。それぞれが下記の順序のとおり分担業務を確実に行うこと。

役割等を拒んだ場合は競技会への参加権利を失うものとする。虚偽が発生した場合は、当該選手または同一標的選手全員を失格とすることもある。

オ 欠場等により1標的1名で行射しなければならない状況が生じた場合は、2名で得点記録作業が行われるよう補助員を補填する。

<1的3人>

順序	得点記録の順序/業務分担	選手A	選手B	選手C
1	Aの得点記録	得点呼称 スコアラー	復唱 端末入力	呼称確認 記入・入力確認
2	Bの得点記録	復唱 スコアラー	得点呼称 端末入力	呼称確認 記入・入力確認
3	Cの得点記録	復唱 スコアラー	呼称確認 端末入力	得点呼称 記入・入力確認
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。 ・スコアカード、端末の交換は行わず、担当選手が管理すること。 ・選手Cは、スコアカードの記入、端末の入力の確認を行う。 ・スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。 ・得点呼称された得点を記入・入力する際は得点を「復唱」する。 ・標的面的的中孔の全てに、L字でチェックする。 			

<1的2人の場合>

順序	得点記録の順序/業務分担	選手A	選手B
1	Aの得点記録	得点呼称 スコアラー	復唱 端末入力
2	Bの得点記録	復唱 スコアラー	得点呼称 端末入力
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。 ・スコアカード、端末の交換は行わず、担当選手が管理すること。 ・互いに、スコアカードの記入、端末の入力の確認を行う。 ・スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。 ・得点呼称された得点を記入・入力する際は得点を「復唱」する。 ・標的面的的中孔の全てに、L字でチェックする。 		

<個人決勝ラウンド>

順序	得点記録の順序/業務分担	(左立ち)	(右立ち)
1	(左立ち)の得点記録	得点呼称 スコアラー	復唱 記入確認
2	(右立ち)の得点記録	復唱 スコアラー	得点呼称 記入確認
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。 ・スコアカードの交換は行わず、担当選手が管理すること。 ・互いに、スコアカードの記入の確認を行う。 ・スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。 ・得点呼称された得点を記入・入力する際は得点を「復唱」する。 ・標的面的の中孔の全てに、L字でチェックする。 <p>※個人決勝立ち位置は、P10・P11女子・男子個人決勝トーナメント参照</p>		

- (3) 得点記録(的中点数の判読・記載得点の復唱・誤記入等)に関し、異議があれば直ちに審判員の判定、訂正確認を求めることができる。
- (4) 的中点数の判定について、選手は次のとおり疑義を申し立てる権利がある。
- ア 得点の判読に対する自己確認または同一標的を使用する選手それぞれの立場で疑義が生じた場合、いずれからも審判員の判定を求めることができる。
- イ 審判員により得点の判読が行われ、これが最終判定となる。
- (5) 選手は競技終了後、サイン(競技者、記録者)、合計点、10点数、X数を全て記入したスコアカードを提出しなければならない。主催者が間違いを発見した場合、その間違いは訂正され、その結果は有効とする。
- (6) 個人戦決勝ラウンドの全ての対戦のスコアカードへの記入及びスコアボードへのポイント表示は選手が行う。メダルマッチでは得点の判読を審判員が行い、この判読が最終判定である。
- (7) 同一標的選手全員の得点記録業務が完了し、得点記入が終わったことを選手全員が確認するまで、矢・標的面・標的支持枠等に一切触れてはならない。
- (8) スコアカードに記載された得点の訂正は、2本線で該当エンドのすべての矢の訂正を行い、その次の選手全員がサインする。同じエンドで2回以上の訂正をする場合は審判員に訂正してもらう。
- (9) 得点記録業務に必要な絶対条件を、各自が完全に履行すること。不注意による不履行も「合意の違反行為」とみなされる。
- ア スコアカードに記載される各エンドのスコアが正確であることについて、各選手は競技者としての責任を負わなければならない。
- イ 各々の分担業務遂行のため、選手名を聞き漏らさないこと。
- ウ 誤りを防ぐために、用紙・選手名・記入上の確認を行うこと。
- エ 得点記入したスコアラーが復唱しない場合は、復唱を必ず要求すること。
- オ 声量不足で聞き取れない場合は、再度の復唱と声量の要求をすること。
- カ 得点呼称時に、必ず「自分のスコアカードの記入欄」であることを確認すること。

- キ 矢を抜き取る前には、標的面的の中孔にL字でチェックをしておくこと。
- ク 選手は、競技終了時にスコアカードに確認のサインをする。サイン不履行の場合、競技本部はスコアカードの受け取りを拒否することができる。
- ケ 得点呼称は他の競技者にも分かりやすいよう指を差しながら行う。（その際は矢には触れないよう注意すること）
- コ 上記ア～ケの行為は、すべてそれぞれの選手の責任として行うこと。

(10) 得点記録業務において、次の場合には当該選手並びに同一標的を使用する選手全員の失格を宣言することができる。

- ア 自身の虚偽や不正申告の場合
- イ 上記行為の合意・容認の場合
- ウ 各厳守事項に対する不全・不履行の場合

(11) 選手自身が標的に行けない場合、所定の手続きをとり、審判員の許可を得てチームの監督、同じ標的の他の選手、またはその選手の代行者に得点記録と矢の回収の権利を委託することができる。

5 スコアカード

(1) 予選ラウンド用スコアカード

- ア スコアカードは予選ラウンド練習前に配布されるので、選手はゼッケン番号等、必要事項を全て記入すること。
- イ 1枚目：本部用、2枚目：選手用、である。スコアカードはスコアラーが管理すること。
- ウ 得点記入は下の欄から記入する。
- エ 36射終了時に、必要事項の記入を忘れないこと。
- オ スコアカードの提出は、前半（36本）後半（36本）終了時に記録席付近の専用回収ボックスに提出すること。

JOCジュニアオリンピックカップ 全国高等学校アーチェリー選抜大会										JOCジュニアオリンピックカップ 全国高等学校アーチェリー選抜大会										JOCジュニアオリンピックカップ 全国高等学校アーチェリー選抜大会																																							
競技者番号 72 - A					日付 令和3年9月27日					選手名 ○○ ○○					競技者番号 72 - B					日付 令和3年9月27日					選手名 ●● ●●																																		
所属 ○○県立●●高校					学校					所属 △△立▼△高校					学校					所属 ○○県立●●高校					学校																																		
1エンド	2エンド	3エンド	4エンド	5エンド	6エンド	合計				1エンド	2エンド	3エンド	4エンド	5エンド	6エンド	合計				1エンド	2エンド	3エンド	4エンド	5エンド	6エンド	合計																																	
48										53										47																																							
10数	X数	選手サイン				記録者サイン				10数	X数	選手サイン				記録者サイン				10数	X数	選手サイン				記録者サイン																																	
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
6エンド	72 - A																				6エンド	72 - B																6エンド	72 - C																				
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
5エンド	72 - A																				5エンド	72 - B																5エンド	72 - C																				
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
4エンド	72 - A																				4エンド	72 - B																4エンド	72 - C																				
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
3エンド	72 - A																				3エンド	72 - B																3エンド	72 - C																				
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
2エンド	72 - A																				2エンド	72 - B																2エンド	72 - C																				
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			
(前半・後半)										小計										(前半・後半)										小計																													
1エンド	72 - A				10	9	8	7	7	7	=47=				1エンド	72 - B				10	9	8	7	7	7	=53=				1エンド	72 - C				10	9	8	7	7	7	=47=																		
訂正サイン																				訂正サイン																				訂正サイン																			

(2) 個人戦決勝ラウンド用スコアカード

- ア スコアカードは各対戦前に配布されるので、必要事項を記入し開始時に担当審判に提出する。
- イ スコアカードは各対戦につき1枚を使用する。
- ウ スコアカードは1枚目：本部用、2、3枚目：選手用。
- ※対戦終了後、選手はスコアカードを記録席付近の専用回収ボックスに提出すること。
- エ 対戦終了後に必要事項の記入を忘れないこと。

JOCジュニアオリンピックカップ 全国高等学校アーチェリー選抜大会

令和3年3月28日

個人戦

イリミネーションラウンド・ファイナルラウンド

男子 /

女子

1/24
1回戦

1/16
2回戦

1/8
3回戦

1/4ファイナル
準々決勝

セミアイナル
準決勝

ブロンズマッチ
3位決定戦

ゴールドマッチ
決勝

予選順位	9			
競技者番号	2-D			
選手名	○○ ○○			
学校名	○○高校			

的番号	5
-----	---

的番号	5
-----	---

予選順位	56			
競技者番号	15-A			
選手名	○○ ○○			
学校名	○○高校			

1セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	9	9	6	24	
訂正					

ポイント	0
------	---

ポイント	2
------	---

1セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	9	9	28	
訂正					

2セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	9	9	8	26	
訂正					

ポイント	1 / 1
------	-------

ポイント	1 / 3
------	-------

2セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	8	8	26	
訂正					

3セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	9	8	5		○○ ◎◎
訂正	9	9	6	24	

ポイント	0 / 1
------	-------

ポイント	2 / 5
------	-------

3セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	8	7	25	
訂正					

4セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	8	8	26	
訂正					

ポイント	2 / 3
------	-------

ポイント	0 / 5
------	-------

4セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	8	5	23	
訂正					

5セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	9	9	9	27	
訂正					

ポイント	2 / 5
------	-------

ポイント	0 / 5
------	-------

5セット	1	2	3	小計	訂正サイン
	10	8	8	26	
訂正					

シュートオフ	1回目	10	判定
	2回目	9	

合計	1 / 6	0 / 5
	6	5

シュートオフ	1回目	10	判定
	2回目	9	

勝

勝

選手サイン ○○ ○○

勝者に○印
1枚日本部用 2-3枚目選手用

選手サイン ◎◎ ◎◎

6 服装規定について

(公財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が定める服装規定に準じて実施する。

7 競技者の失格について

(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則第14章第208条、209条に準じて競技者を失格にする場合がある。

※大会の秩序を著しく失墜・混乱させる行為、スポーツマンシップに反する行為等については、1回目での失格もあり得る。(※監督の違反行為等についても同様の対処とする。)

8 その他の事項について

(1) 的紙の交換は、必要と認めた場合に行うものとする。

(2) 公式練習、予選ラウンド、個人戦決勝ラウンドの競技中、監督はWWLまで立ち入ることができない。

(3) 各対戦で敗退した選手、監督は、速やかに指定エリアから退出すること。

(4) 予選ラウンドで使用する弓具はWL後方に整頓して置くものとする。

(5) 競技会場で行射により矢を紛失した場合は、審判員に必ず報告すること。

(6) 記録の掲示については次のとおりとする。

ア 記録の貼り出しは行わず、得点集計システムを用いた電子配信のみとする。

イ 予選ラウンド終了後に行う記録の確認は、電子配信された確認記録一覧表による。

※確認記録に対する異議申し立ては、確認記録配信後10分間とする。

ウ 決勝ラウンドでは、各対戦終了毎の結果を表示する。

エ 個人決勝ラウンドの確定記録は本専門部HP上による電子配信とし、競技終了後、競技会場での配布は行わない。

(7) 得点記録以外の異議申し立てについては、いかなる場合も監督を通じて競技本部へ申し出、競技委員長、又は審判長の裁定をもって最終決定とする。その裁定を不服とする上訴委員会への提訴については、(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則に準じた手続きを取らなければならない。

(8) 記録確認等で使用するスマートフォン等の使用はWWL後方とする。着信音を鳴らすことを厳禁とする。

(9) 表彰式・閉会式については以下のとおりとする。

ア 閉会式は参加者が整列しての式典は行わず、控えテント内で行う。

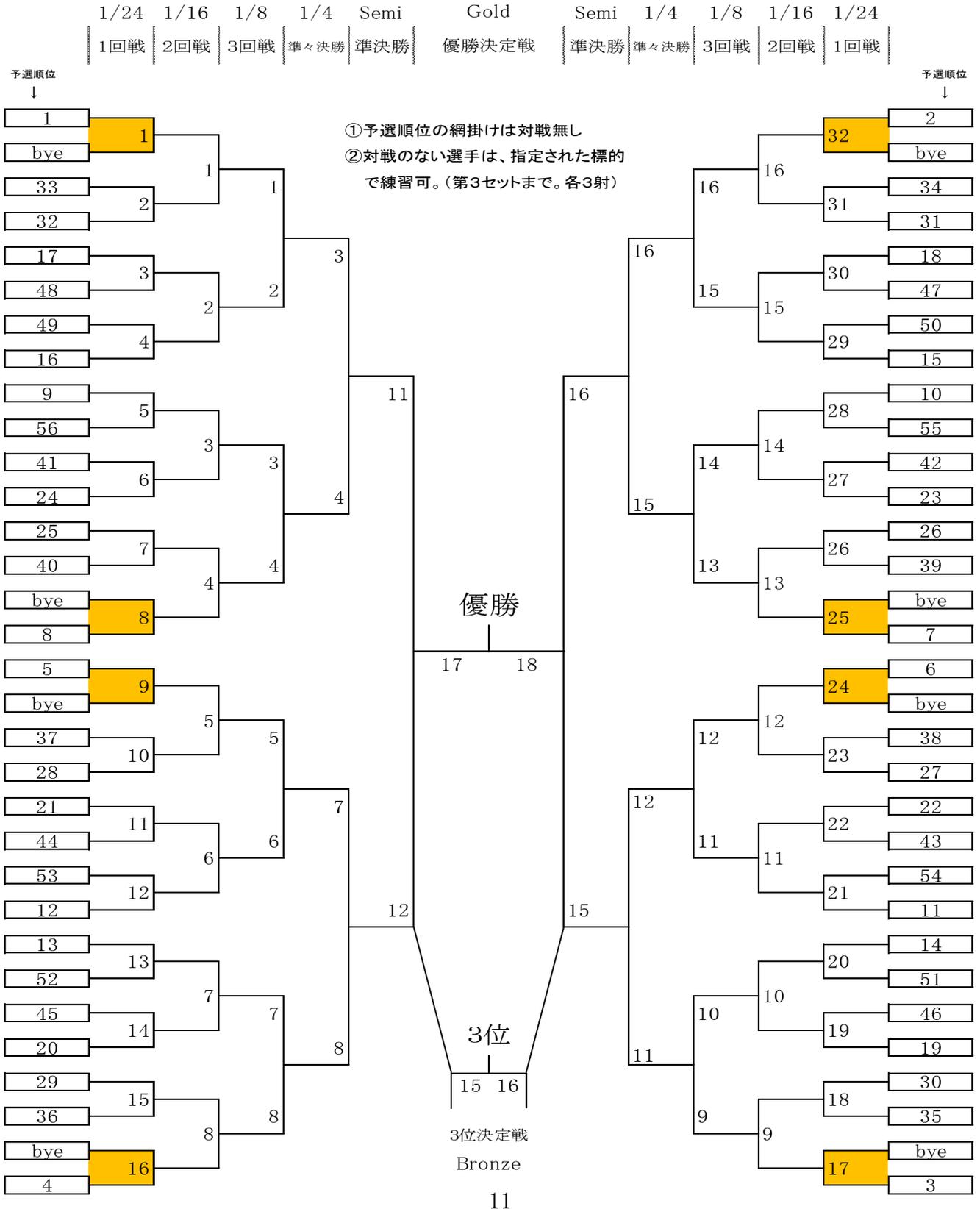
決勝ラウンドベスト8に残った選手は参加すること。

イ 表彰式は成績発表のみとし、入賞者への賞状・商品の授与は終了後、受付にて配布する。

女子個人戦決勝トーナメント表

- ① 1/24 ~ 1/16 は1標的2名の行射とする。
- ② 立ち位置は、トーナメント表左側は、上段が左立ち、下段が右立ち。
- ③ トーナメント表右側は、上段が右立ち、下段が左立ちとなる。

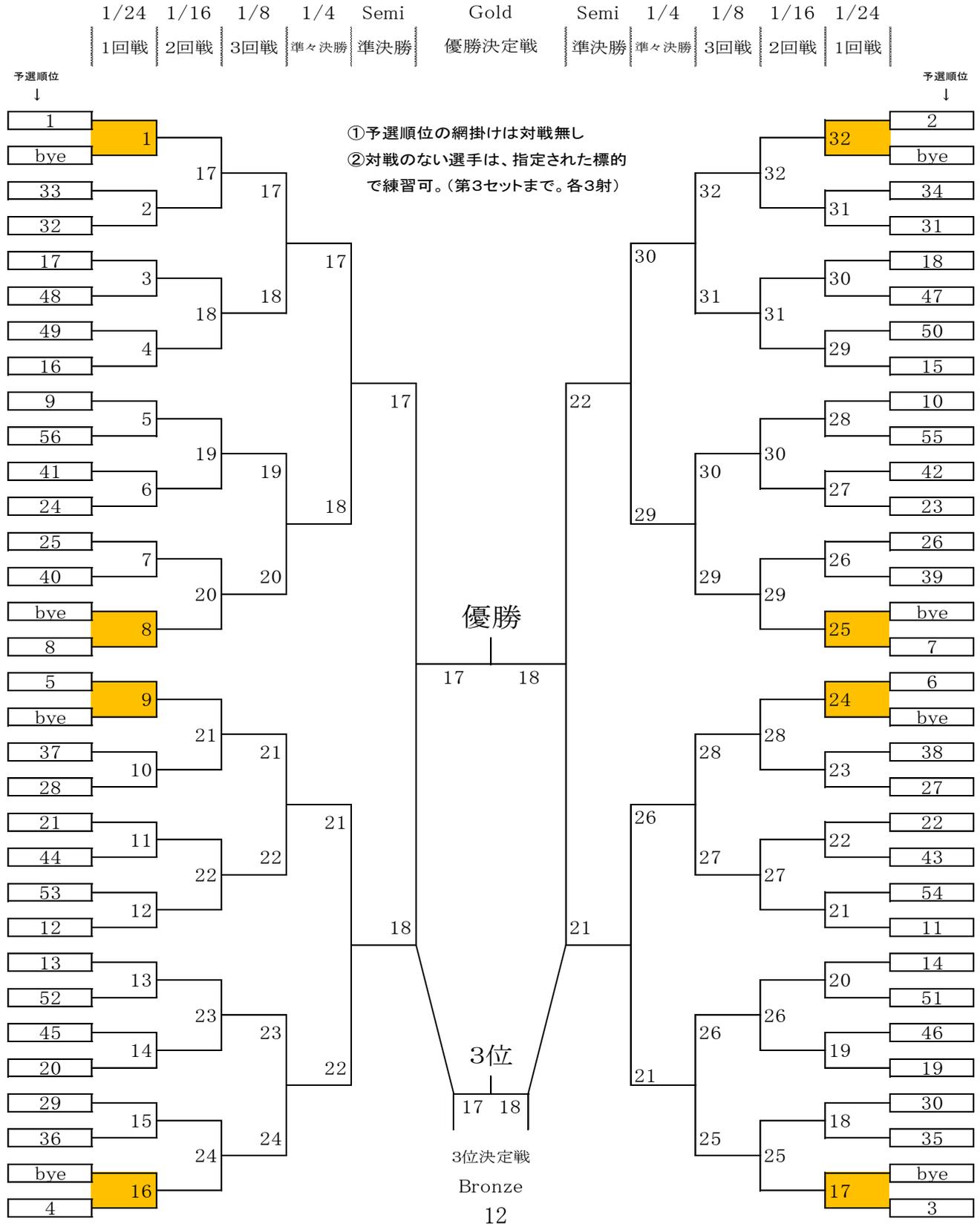
女子個人決勝トーナメント



男子個人戦決勝トーナメント表

- ① 1/24 ~ 1/16 は1標的2名の行射とする。
- ② 立ち位置は、トーナメント表左側は、上段が左立ち、下段が右立ち。
- ③ トーナメント表右側は、上段が右立ち、下段が左立ちとなる。

男子個人決勝トーナメント



標的配置図

※決勝ラウンドを勝ち上がると、対戦する標的が移動します。自分の順位を確認し、標的（立ち位置）を間違えないようにして下さい。

		32m				15m				32m				15m			
		4m		4m		4m		4m		4m		4m		4m		4m	
レーン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
公式練習	3月26日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
予選ラウンド	3月27日 AM	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
予選ラウンド	3月27日 PM	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
決勝ラウンド		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>1/8イリミネーションが終了した時点で、敗退者は1、2、5、6、9、10、13、14、19、20、23、24、27、28、31、32の標的を撤去します。</p> <p>(撤去後、1/8イリミネーションまでの敗退者は解放可)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ペント8に進出した選手は、全員閉会式に出席となります。</p> </div> </div>																	
個人トーナメント 1/24 女子	3月28日 1/6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント 1/24 男子	3月28日 1/4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント 1/16	3月28日 1/2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント 1/8	3月28日 1/4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント セミファイナル	3月28日 1/2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント フロントメダルマッチ	3月28日 1/2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント コールドメダルマッチ 女子	3月28日 1/2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
個人トーナメント コールドメダルマッチ 男子	3月28日 1/2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3m																	
SL																	
FL (ML)																	
WL																	
WWL																	
EEL																	